

ライブラリー・アシスタントから、 みなさんへメッセージ

105P047 小嶋 大隆

私は入学と同時にライブラリー・アシスタントとして図書館で働く事になり、いつのまにか4年間続けていました。4年間図書館で働くと、この図書館がどんなに学生生活の役に立っているかというのを身にしみて感じます。

図書館の中は、にぎわう憩いの場とは違い、静かでとても勉強しやすい環境となっていて、試験期間には最後の追い込みをする学生にとって理想的な場所と言えるでしょう。さらには膨大な資料はもちろんパソコンや印刷機があることにより、レポートのシーズンになればたくさんの学生が図書館で資料集め、パソコンと印刷機を使いレポートを作成している姿を見ます。私も図書館での勉強とレポート作成がどんなに効率がいいかすでに体験済みです。

他にもただ勉強するためだけに図書館に行くのではなく、視聴覚コーナーでは映画を借りる事ができるので、空き時間にブースを借りて映画を見る学生が多いです。私自身も授業が休講になったりしたときには、図書館で映画を見て過ごしていました。変則的な大学の時間割の中で、次の授業まで何時間も空きがある場合は何もしないで時間を過ごすより、図書館で映画を見て過ごしてはいいかがでしょうか。

秋学期後半になると、スーツを来た学生を図書館で見られるようになりますが、彼らは就職活動中の学生たちです。彼らが何をしているかというと、パソコンで求人を見て説明会の予約や履歴書を朝から何枚も書き、視聴覚コーナーを利用し就職ガイダンスのビデオを見たりしています。

もうおわかりになるでしょうが、図書館とは大学生活を過ごす中で、切っても切り離せない場所です。新入生も在校生も積極的に図書館を利用しましょう。職員やライブラリー・アシスタントが皆さんの力になり、充実した大学生生活を送れるはずですよ。

(政治経済学科 4年)